

訪問診療・往診・訪問リハビリテーション



医療法人平和会
ひさまつクリニック

Wenson 通信

～うえんそんつうしん～

VOL.5

コーディネーター紹介！！

ひさまつクリニックにはいろいろなコーディネーターと名のつく資格を持った職員がおり、本職に活かして活躍中ですので、今回紹介させていただきます。

職員紹介

☆カラーコーディネーター

当院では「イメージアップ作戦」と銘打って、職員向けにカラー診断を行いユニフォームの色を決めています。カラー診断はたくさんの色の布をあてて診断していきます。



「似合う色のものを身につけると、若々しく健康的に見えます。訪問診療に伺っていると、患者様は訪問者の服装や髪形の変化等に敏感に気づかれことがあります。在宅医療に爽やかな風がおこせるような仕掛けを今後も考えていきたいと考えています。」 前畑 文（事務スタッフ）

次回よりペット紹介コーナーを企画しています。うちのペットを紹介してもよいという方、当院スタッフまでお知らせください。



☆福祉住環境コーディネーター

高齢者や障害者・そのご家族の立場に立ち、建築、介護、医療それぞれ専門家間で住宅改修等が円滑に行われるための資格です。2級取得者には介護保険を利用して住宅改修を行った際の必要書類である「住宅改修が必要な理由書」を作成することが認められています。



▲福祉住環境コーディネーター2級取得者
左から金谷親好、萩原めぐみ、堀川渉一

■社会福祉士学会に参加

7月5・6日の2日間、「第22回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会」が開催されました。今年の開催地はここ鹿児島！。会場となった宝山ホールには、全国から1000名を超える参加者が集まりました。当クリニックのMSW（医療ソーシャルワーカー）も4名揃って参加してまいりました。今回の大会テーマは「変化する社会構造と社会福祉士～多様な福祉ニーズに応えるために～」ということで、地域、介護、医療、司法など様々な分野で活躍する社会福祉士に求められる役割についての講演や発表を聞くことができました。1日目のシンポジウムでは、久松院長がシンポジストとして登壇し、「在宅医療におけるMSWの役割」として、当クリニックにおけるMSWの活動紹介をされました。当クリニックの規模で、MSWが4名（常勤換算3.5名）在籍しているというのは全国的にも珍しく、参加者の皆さんにかなりのインパクトを与えたようでした。院長の発表を聞きながら、自分たちのこれまでの活動を振り返り、これからの活動の道筋を考える貴重な機会となりました。今後は人数だけでなく、在宅医療のMSWチームとして活動内容でもインパクトを与えられるよう、患者さんとそのご家族に寄り添いながらMSWとしての役割を果たしていきたいと思っております。（MSW 金丸真由美）

会場入口で記念撮影！

岩元 MSW が育児休業中のため、4人が揃うのは実はこの日が初めてでした（^^）岩元 MSW は、9月に復職予定です（^^）/ これからも、ひさくり MSW チームをどうぞよろしくお願ひ致します！



左から福島、小野、久松院長、金丸、岩元

『平和会訪問看護ステーション』

誕生！！



ひさまつクリニックでは新規事業として訪問看護ステーションを立ち上げます。

つきましては、看護師・リハビリスタッフを大募集しております！

訪問看護・訪問リハビリにご興味のある方は川路（事務）までご連絡下さい。